

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【公表番号】特表2011-507820(P2011-507820A)
 【公表日】平成23年3月10日(2011.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報2011-010
 【出願番号】特願2010-538906(P2010-538906)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 49/00 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 P 27/02 (2006.01)
 A 6 1 K 47/22 (2006.01)
 A 6 1 K 47/48 (2006.01)
 A 6 1 K 47/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 49/00 Z
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 27/02
 A 6 1 K 47/22
 A 6 1 K 47/48
 A 6 1 K 47/34

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月9日(2011.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ビタミンE誘導体と細胞死マーカーを含有する医薬組成物。

【請求項2】

前記細胞死マーカーがアネキシンである、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

前記アネキシンのアネキシンVである、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

前記ビタミンE誘導体がトコフェロール又はその誘導体である、請求項1から3のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項5】

前記トコフェロールが、ポリエチレングリコール1000にエステル結合したD-トコフェリルスクシナートである、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項6】

少なくとも1つの作用物質の後眼部への送達を高めるための薬剤を製造するためのビタミンE誘導体の使用。

【請求項7】

前記作用物質が細胞死マーカーを含む、請求項6に記載の使用。

【請求項8】

前記ビタミンE誘導体がトコフェロール、特にポリエチレングリコール1000にエス

テル結合した D - - トコフェリルスクシナートである、請求項 6 又は 7 に記載の使用。

【請求項 9】

前記ビタミン E 誘導体が局所送達用に製剤される、請求項 6 から 8 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 10】

前記薬剤が、網膜への送達を高めるためである、請求項 6 から 9 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 11】

少なくとも 1 つの作用物質をビタミン E 誘導体と組み合わせて含む、前記作用物質を後眼部へ送達するための医薬組成物。

【請求項 12】

前記作用物質とビタミン E 誘導体が局所的に送達される、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記ビタミン E 誘導体がトコフェロール、特にポリエチレングリコール 1000 にエステル結合した D - - トコフェリルスクシナートである、請求項 11 又は 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記医薬組成物が、作用物質を網膜に送達するためである、請求項 11 から 13 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記作用物質が細胞死マーカーである、請求項 11 から 14 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

第 2 の作用物質を含む、請求項 15 に記載の医薬組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

参考文献

【表 1】

1. Cordeiro MF, Guo L, Luong V, et al. Real-time imaging of single nerve cell apoptosis in retinal neurodegeneration. *Proc Natl Acad Sci USA* 2004; 101: 13352-13356.
2. Guo L, Salt TE, Luong V, et al. Targeting amyloid- β in glaucoma treatment. *Proc Natl Acad Sci USA* 2007.
3. Maass A, Lundt von Leithner P, Luong V, et al. Assessment of rat and mouse RGC apoptosis imaging in-vivo with different scanning laser ophthalmoscopes. *Curr Eye Res* 2007; [accepted for publication].

[1]

ビタミン E 誘導体と細胞死マーカーを含有する医薬組成物。

[2]

前記細胞死マーカーがアネキシンである、上記[1]に記載の医薬組成物。

[3]

前記アネキシンがアネキシン V である、上記[2]に記載の医薬組成物。

[4]

前記ビタミン E 誘導体がトコフェロール又はその誘導体である、上記[1]から[3]のいずれか一項に記載の医薬組成物。

[5]

前記トコフェロールが、ポリエチレングリコール 1000 にエステル結合した D - - トコフェリルスクシナートである、上記[4]に記載の医薬組成物。

[6]

少なくとも 1 つの作用物質の後眼部への送達を高めるための担体としてのビタミン E 誘導体の使用。

[7]

前記作用物質が細胞死マーカーを含む、上記[6]に記載の使用。

[8]

前記ビタミン E 誘導体がトコフェロール、特にポリエチレングリコール 1000 にエステル結合した D - - トコフェリルスクシナートである、上記[6]又は[7]に記載の使用。

[9]

前記ビタミン E 誘導体が局所送達用に製剤される、上記[6]から[8]のいずれか一項に記載の使用。

[10]

前記担体が、網膜への送達を高めるためである、上記[6]から[9]のいずれか一項に記載の使用。

[11]

作用物質をビタミン E 誘導体と組み合わせて眼に送達することを含む、少なくとも 1 つの作用物質の後眼部への送達の方法。

[12]

前記作用物質とビタミン E 誘導体が局所的に送達される、上記[11]に記載の方法。

[13]

前記ビタミン E 誘導体がトコフェロール、特にポリエチレングリコール 1000 にエステル結合した D - - トコフェリルスクシナートである、上記[11]又は[12]に記載の方法。

[14]

前記方法が、作用物質を網膜に送達するためである、上記[11]から[13]のいずれか一項に記載の方法。

[15]

前記作用物質が細胞死マーカーである、上記[11]から[14]のいずれか一項に記載の方法。

[16]

第 2 の作用物質を送達することを含む、上記[15]に記載の方法。